

NO.412

平成 24 年度
三田市人権ポスター入賞作品



人権さんだ



人権さんだは、みなさんに人権に関する気づきや情報などをお届けします。新たな発見や共感したことなどを含めてご意見、ご感想を人権推進課までお寄せください。
問い合わせ＝まちづくり部人権推進課
(559-5081・5148 FAX563-3611 e メールアドレス jinken_u@city.sanda.lg.jp)

広野小学校3年(前年度)
みぞはあんな
溝畑杏奈さん

「三田幸せプロジェクト～明るい未来へ～」は、三田市同和教育研究協議会(略称:三同教)の中心事業として、毎年8月に開催しています。様々な人権課題について、話を聴き、語り合い、学び合い、人としてのよりよい生き方を確かめ合っています。みなさん、互いの生き方を確かめ合う中で、人権でつながる仲間を広げていきましょう。そして、誰もが幸せを感じる人権のまちづくりをすすめていきましょう。多くの方のご参加をお待ちしています。

三田幸せプロジェクト ～明るい未来へ～

開催日 8月25日(日)

分科会概要

参加無料

≪開催会場≫

【分科会①～③】 三田市総合福祉保健センター
【分科会⑥・⑦】 広野市民センター

【分科会④・⑤】 ウディタウン市民センター

※どなたでも参加できます

午前の部(9時45分～12時15分)

午後の部(13時30分～16時)

分科会① 障がいのある人と人権

報告者 酒井 雅和さん

テーマ みんなで歌ってみんなで考えよう～あなたのことわたしのこと～

講師の酒井雅和さん(元三田市内中学の社会科教師)は、すこぶる健康で教師の傍ら野球部の監督を務めていましたが、突然の病魔に襲われ中途失明・全盲になりました。自身の障がいを現実として受け入れることができるまでは悩み、苦しみ、自死さえも考えました。おつれあいの美智代さんに支えられ京都の訓練施設で少しずつ自信を取り戻していき、友人との再会や同じ障がい者との交流から「不自由なれど不幸にあらず」の名言に辿りつきます。そのような体験談を通して障がいについて、みんなで考え人権を身近に感じましょう。

分科会④ 高齢社会を生き抜く

報告者 (社福)三田市社会福祉協議会のみなさん・三田市老人クラブ連合会のみなさん

テーマ 地域のサポートが高齢者の生き方を変える(老いの準備をみんなで考えよう)

高齢者はどんどん増えていきますが、老人クラブは休会に追い込まれたりしています。核家族で夫婦のみや一人で暮らす高齢者が、自分を守るために、一人でも生きていけるために、本人が準備することは大切です。しかし、地域交流が希薄になっている今だからこそ、民生委員・児童委員や介護福祉士だけでなく、地域みんなでできることを考えていく必要があります。地域のサポートについて、ぜひ一緒に考えてみましょう。

分科会⑥ 多文化共生と人権

報告者 李 相民さん(白頭学院建国高等学校 教員)

テーマ 在日コリアン青年の挑戦～外国にルーツを持つ子どもたちが自分らしく生きられる社会を目指して～

1994年、市内の在日コリアンの高校生宅に連日卑劣な差別電話がかかってくるという事件が起こりました。このことをきっかけに三田市では外国人の人権の取り組みが始まりました。この事件の当事者である青年に当時の状況や思い、在住外国人の問題、外国にルーツを持つ子ども達の教育についてお話をさせていただきます。誰もが幸せに生きる三田のために『共に生きる』この意味を一緒に考えてみませんか。

分科会② 部落問題について考える

報告者 阿部 千明さん(徳島県吉野川市 たんぼぼの会)

テーマ 人権学習会(解放子ども会)の子どもたちとともに

「人間として生きるには人を人として大切に」人権学習は人間らしく生きる生き方を学ぶこと。徳島県吉野川市の人権学習会(解放子ども会)では部落内外を問わず差別を無くしたい仲間たちが、自己意識の向上と啓発活動を行っています。その学習会の概要を紙芝居で紹介します。また、実施している人権ワークショップから垣間見える部落差別の実態や子どもたちの心理も語りしたいと思います。みなさんにもワークショップを体験してもらい、たくさんの声を聞かせていただきたいと思います。

分科会③ 男女共生について考える

報告者 浮穴 正博さん

テーマ めざめる女 つぶやく男～ちょっと待って、日常の中の思い込み～

『富田林・発:ジェンダーエッセイ集「めざめる女 つぶやく男」』の作品に「妻の下着干す夫の背に姑の顔」があります。女性はどのようにこんな思いをし、生きなければならぬのでしょうか。男性の家事は高く評価され、女性は当たり前として見過ごされる。一方で、『男らしさ』を求められ育った男性の自殺が圧倒的に多いのはなぜなのか。そんな、男性・女性にとって自由な生活を縛っているジェンダーや日常の中の思い込みについて、話し合いを通して考えてみませんか。

分科会⑤ 子どもと人権

報告者 市内の中学生のみなさん

テーマ 伝えたい～体験から感じたこと～

子ども達をとりまく様々な課題の中に『いじめ』があります。おとなも子どももなくしたい・・・という思いは同じです。『いじめ』をなくすために自分に何ができるのかを考えて取り組んだ子ども達がいいます。子ども達に自分を語ってもらい、その後、小グループに分かれて、いじめをなくすために何ができるのかを参加者同士で語り合しましょう。

分科会⑦ いのち・つながる

報告者 米田 明代さん

テーマ 私の生き方の原点は、児童養護施設にあります

「私の生き方の原点は、児童養護施設にあります」と言う彼女。生後半年から高校卒業まで施設で育ち、現在美容師として活躍中。自分の生い立ちを不幸ととらえるのではなく、今を未来をどのように生きるか自分に向きあって、常に前向きに生きる彼女の言葉に元気をもらいます。自分の人生のキャンパスにどのような絵を描くか、それは自分自身。ぜひこの分科会で、自分らしさの色をキャンパスに描いてみませんか?